

2022年度第1四半期 決算ハイライト

2022年8月

株式会社 静岡銀行

第14次中期経営計画

COLORs ~多彩~

2020-2022

2022年度第1四半期決算の概要 ～単体損益

本業収益の増加、経費減少等により、経常利益、四半期純利益ともに増益

安定収益確保の観点より、有価証券ポートフォリオの組み換え等を実施し、国債等債券関係損益は減少

【単体】	(億円、%)	2022年度 第1四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
業務粗利益		353	△6	△1.6
（コア業務粗利益）		438	+73	+20.1
資金利益		313	+2	+0.5
役務取引等利益		59	+22	+60.7
特定取引利益		6	+4	+124.6
その他業務利益		△26	△34	△406.9
（うち国債等債券関係損益）		(△84)	(△79)	(-)
経 費 (△)		232	△6	△2.5
実質業務純益		122	△0	△0.0
コア業務純益（除く投信解約損益）		203	+74	+58.1
一般貸倒引当金繰入額（△）		△0	△1	△105.9
業務純益		122	+1	+0.9
臨時損益		65	+62	-
うち不良債権処理額（△）		7	△4	△36.2
うち株式等関係損益		69	+70	-
経常利益		187	+63	+51.0
特別損益		1	△58	△97.7
うち関係会社株式売却益		0	△60	△100.0
税引前純利益		188	+5	+2.6
法人税等合計（△）		41	△6	△13.0
四半期純利益		148	+11	+8.0
与信関係費用（△）		7	△5	△42.7

業務粗利益（2期連続減益）

資金利益や役務取引等利益等が増加した一方で、その他業務利益が減少し、△6億円減少

進捗率 23.2%

業務純益（2期振り増益）

業務粗利益が減少した一方で、経費や一般貸倒引当金繰入額が減少し、1億円増加

進捗率 19.4%

経常利益（2期振り増益）

業務純益および臨時損益の増加により、63億円増加

進捗率 28.9%

四半期純利益（3期連続増益）

関係会社株式売却益の減少により特別損益が減少した一方で、経常利益が増加し、11億円増加

進捗率 32.8%

2022年度第1四半期決算の概要 ～連結損益

連結経常利益は増益、連結子会社経常利益・持分法投資損益は減益

〔連結〕	2022年度 第1四半期	前年同期比	主な増減理由
連結経常利益	191	+48	2期振り増益 進捗率 25.0% 連結子会社経常利益・持分法投資損益は減少したものの 単体経常利益が増加
親会社株主に帰属する四半期純利益	144	+4	3期連続増益 進捗率 26.7% 連結経常利益が増加し、関係会社株式売却益の減少をカバー

<連結子会社>

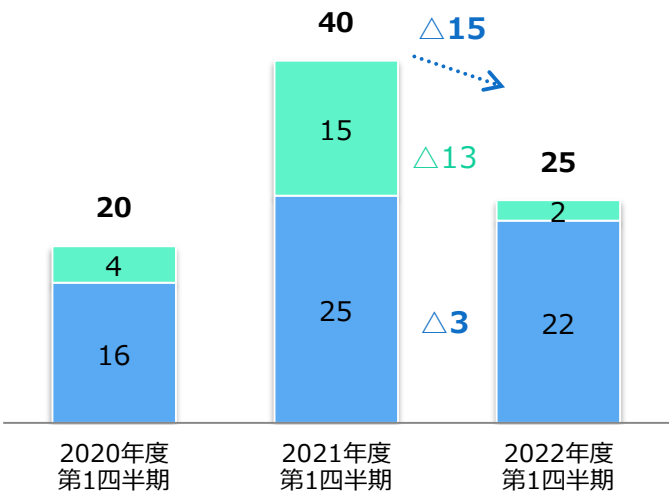
(億円)

会社名	主要業務内容	2022年度 第1四半期 経常利益	前年同期比
静銀経営コンサルティング(株)	M&A、事業承継、経営相談等	1	△0
静銀リース(株)	リース業務	4	△0
静銀ITソリューション(株)	コンピューター関連業務等	1	△0
静銀信用保証(株)	信用保証業務	10	+1
静銀デブイーカード(株)	クレジットカード、信用保証業務	2	+0
静岡キャピタル(株)	株式公開支援、中小企業再生支援業務	0	△0
静銀ティール証券(株)	金融商品取引業務	4	△3
欧州静岡銀行	銀行業務、金融商品取引業務	△0	△0
Shizuoka Liquidity Reserve Ltd.	金銭債権の取得	0	+0
静銀総合サービス(株)	人事・総務・財務関連業務等	0	△0
静銀モーゲージサービス(株)	不動産担保評価・調査、融資関連の集中事務	0	+0
静銀ビジネスクレジット(株)	為替送信等の集中処理業務等	△0	△0
しずぎんハートフル(株)	各種文書の作成・印刷・製本業務	△0	△0
合 計 (13社)		22	△3

【連結子会社経常利益・持分法投資損益】

- 持分法投資損益
- 連結子会社経常利益

(億円)



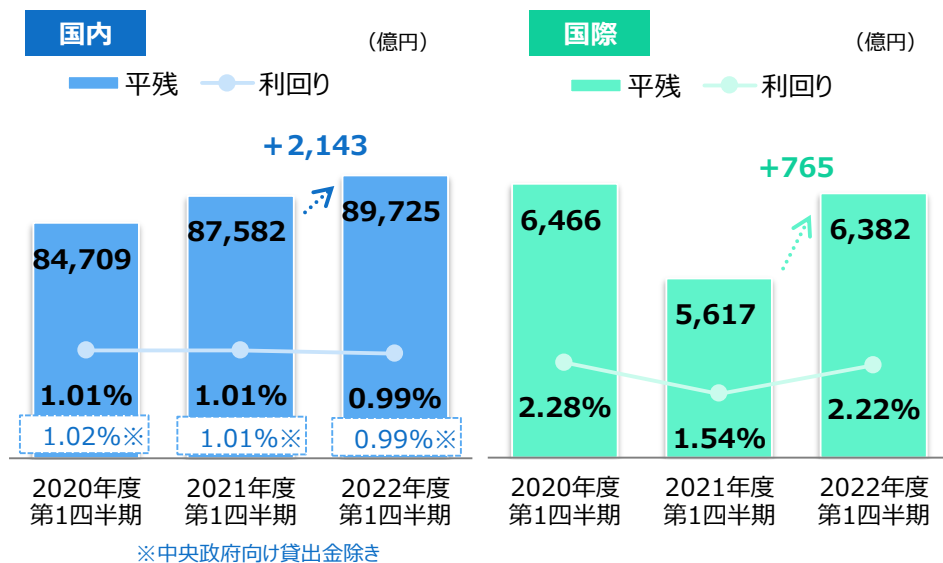
資金利益

資金利益は、国際業務部門の減少を国内業務部門の増加でカバー

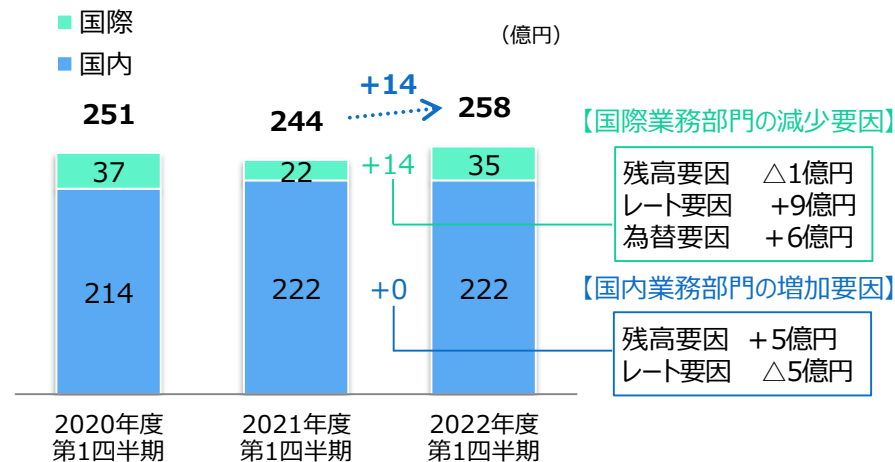
資金利益の内訳

(億円)	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	前年 同期比
資金利益	296	311	313	+2
国内業務部門	267	288	293	+5
貸出金利息	214	222	222	+0
有価証券利息配当金	53	66	67	+1
うち債券	5	5	9	+4
うち投信	0	5	0	▲5
資金調達費用(△)	3	3	2	▲1
うち預金等利息(△)	3	3	3	▲0
その他	3	3	7	+4
国際業務部門	29	23	21	▲3
貸出金利息	37	22	35	+14
有価証券利息配当金	21	15	18	+3
うち債券	20	12	14	+2
うち投信	1	2	4	+2
資金調達費用(△)	32	14	36	+22
うち預金等利息(△)	11	3	14	+11
その他	3	1	4	+3

貸出金残高（平残）・利回り推移



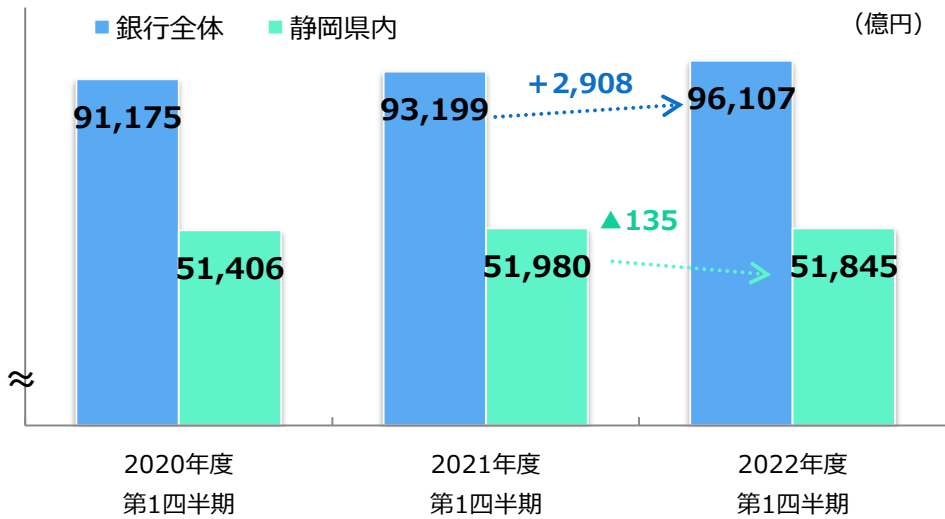
貸出金利息の推移



貸出金

貸出金残高（平残）は中小企業向け、個人向けがバランスよく増加

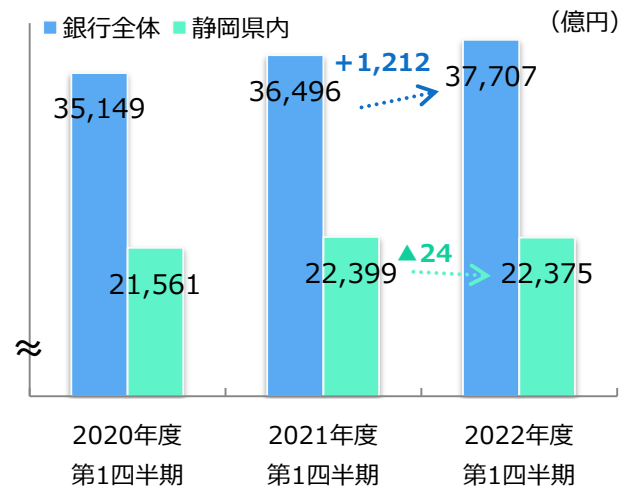
貸出金残高（平残）の推移



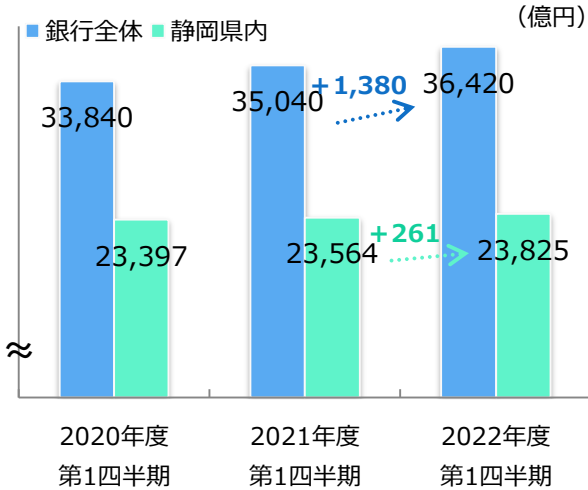
	平残	前年同期比増加額	年率
総貸出金	9兆6,107億円	+2,908億円	+3.1%
中小企業向け貸出金	3兆7,707億円	+1,212億円	+3.3%
個人向け貸出金	3兆6,420億円	+1,380億円	+3.9%
大・中堅企業向け貸出金	1兆8,432億円	+13億円	+0.0%
外貨建貸出金	6,017億円	+816億円	+13.5%

残高要因 △202億円
為替要因 +1,018億円

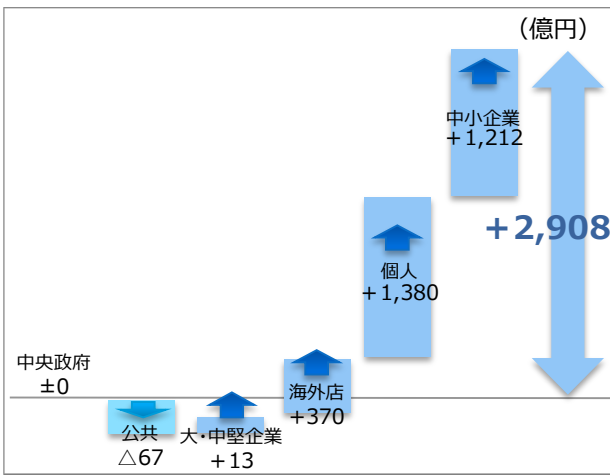
うち中小企業向け貸出金残高(平残)の推移



うち個人向け貸出金残高(平残)の推移



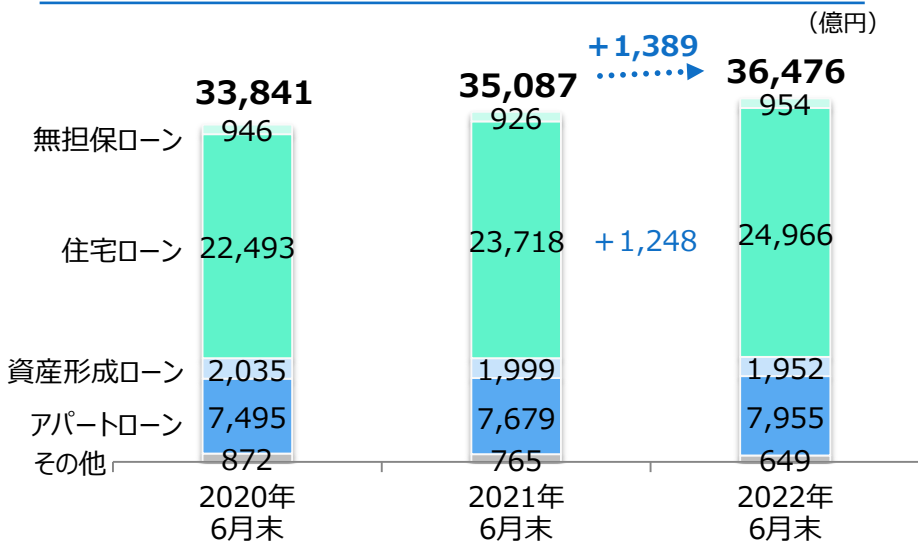
貸出金残高(平残)増減額(前年同期比)内訳



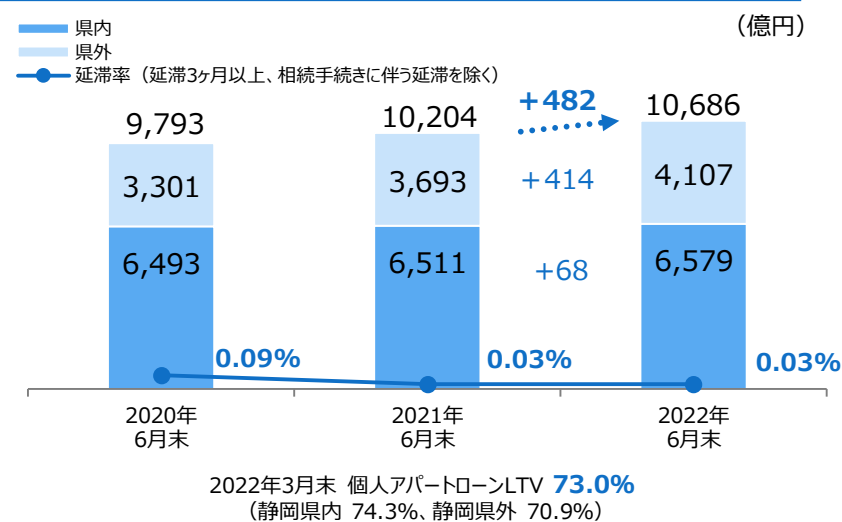
消費者ローン

住宅ローン残高が堅調に推移し、消費者ローン末残は増加

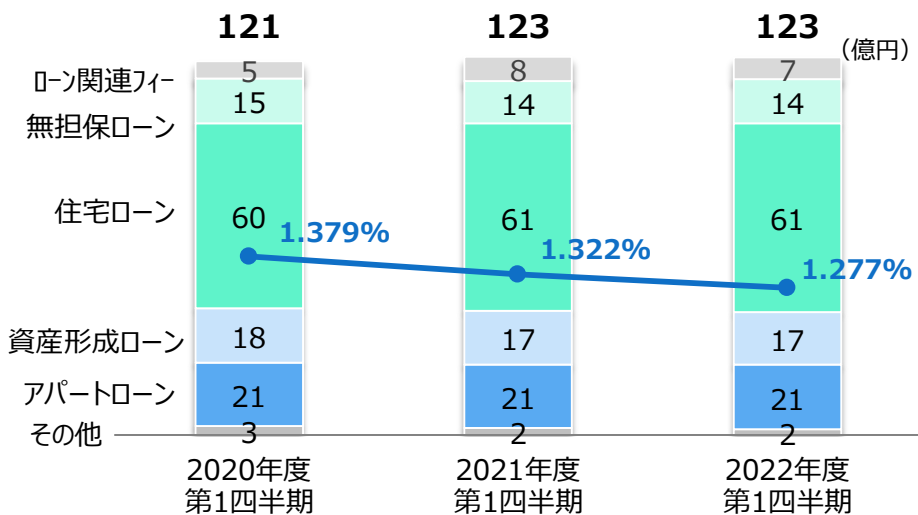
消費者ローン末残推移



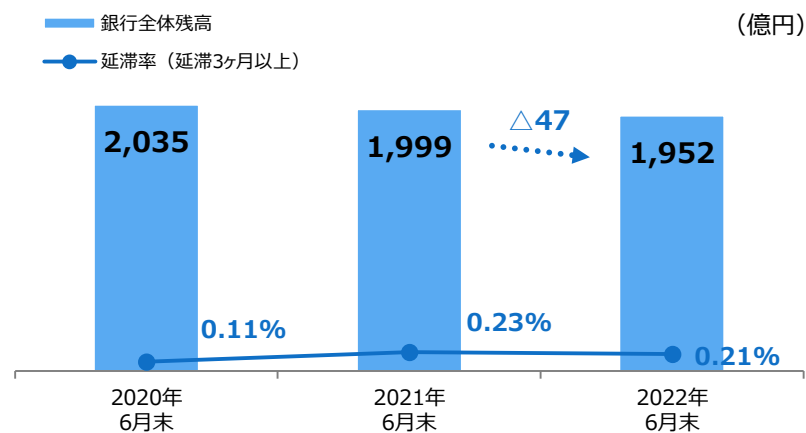
アパートローン（法人含む）末残・延滞率の推移



消費者ローン利息額、手数料およびレートの推移



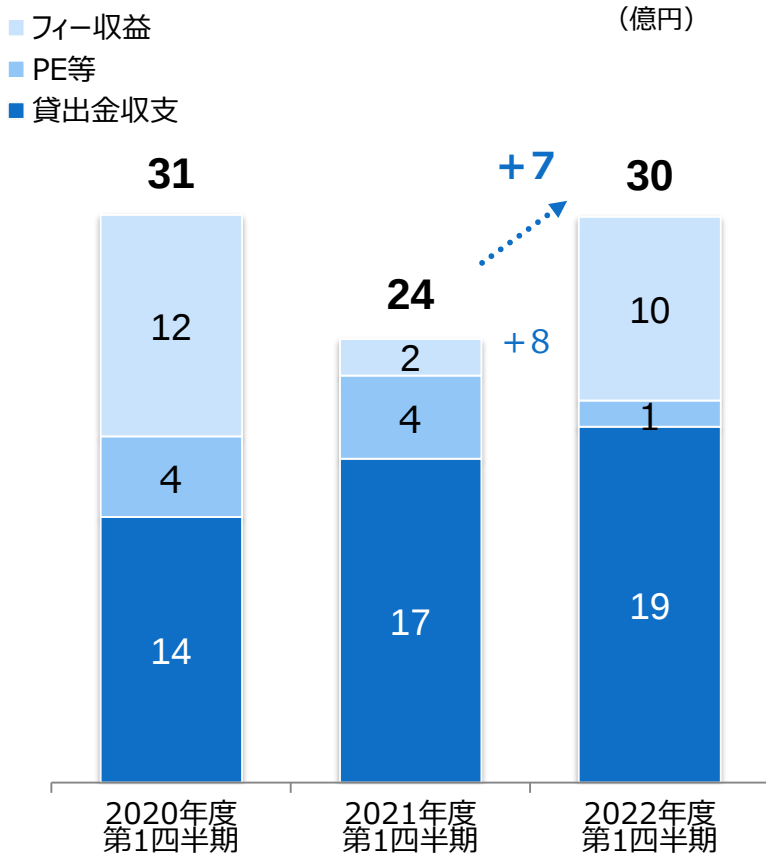
資産形成ローン末残・延滞率の推移



ストラクチャードファイナンス

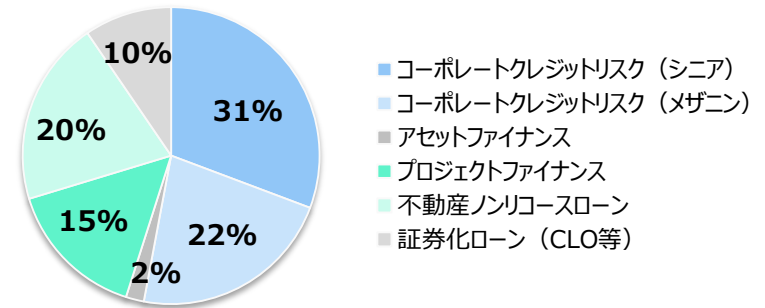
ストラクチャードファイナンス収入はフィー収益の増加等により増収

ストラクチャードファイナンス 収入推移



SF貸出金の収益性指標	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	前年同期比
ROA (総資産利益率)	1.06%	1.09%	+0.03pt
RORA (リスクアセット対比利益率)	1.92%	1.86%	▲0.06pt

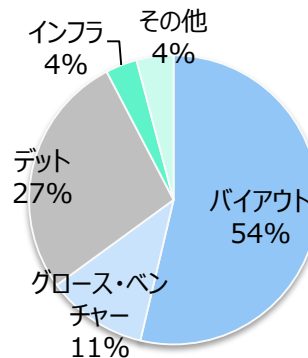
SF貸出金 残高構成割合 (2022年度第1四半期平残6,976億円)



分散を効かせたポートフォリオ
(円貨：外貨 = 6：4)

CLO残高 (2022年6月末)
828億円 (22明細：平均38億円)
全てAAA格
劣後比率は35.0%～41.8%

プライベートエクイティ投資 種類別出資約束額割合



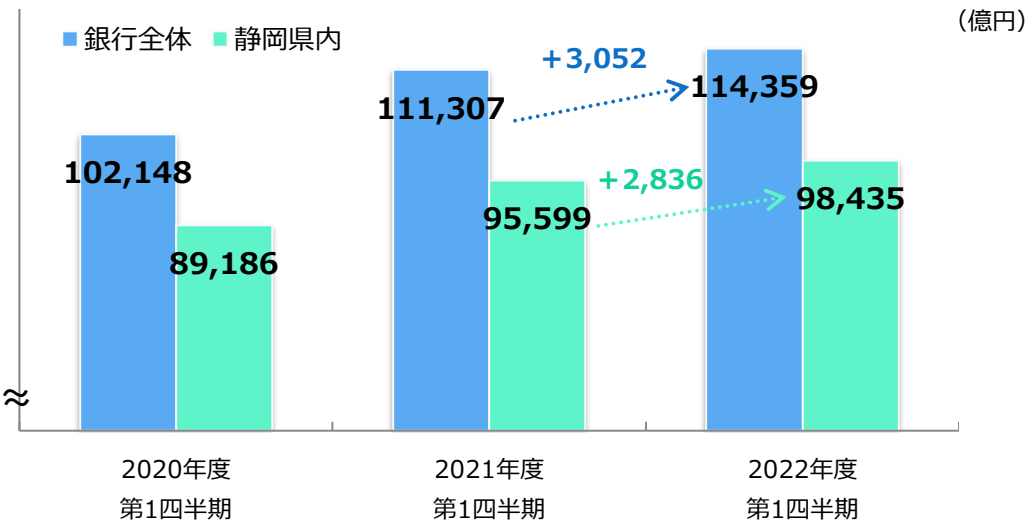
S F 貸出金同様
分散を効かせたポートフォリオ

出資件数：97件 (うち海外41件)

預金

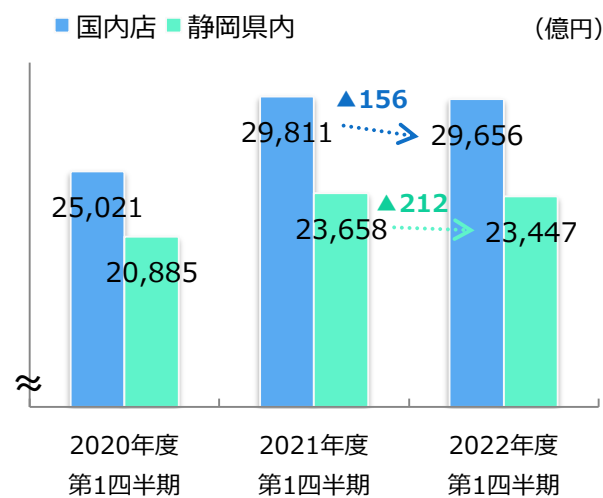
預金残高（平残）は、個人預金を中心に増加

預金残高（平残）の推移

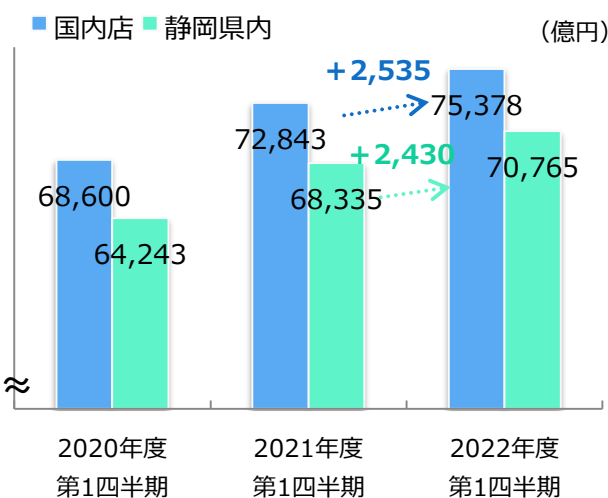


	平残	前年同期比増減額	年率
総預金	11兆4,359億円	+3,052億円	+2.7%
静岡県内預金	9兆8,435億円	+2,836億円	+2.9%
法人預金	2兆9,656億円	▲156億円	▲0.5%
個人預金	7兆5,378億円	+2,535億円	+3.4%
公共預金	3,843億円	+571億円	+17.4%
譲渡性預金	1,063億円	▲127億円	▲10.6%

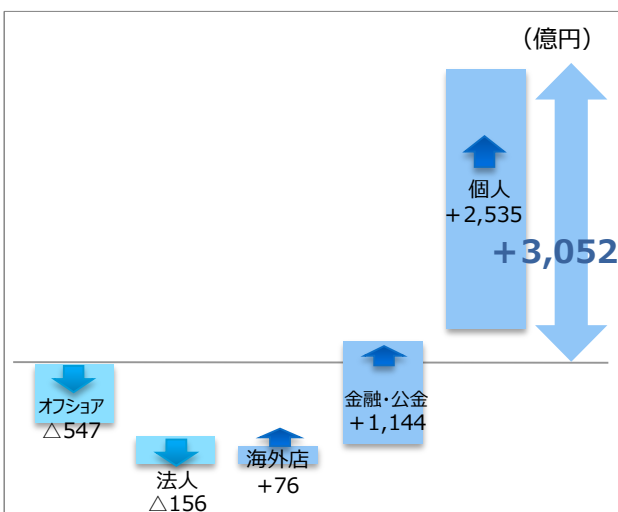
法人預金残高（平残）の推移



個人預金残高（平残）の推移



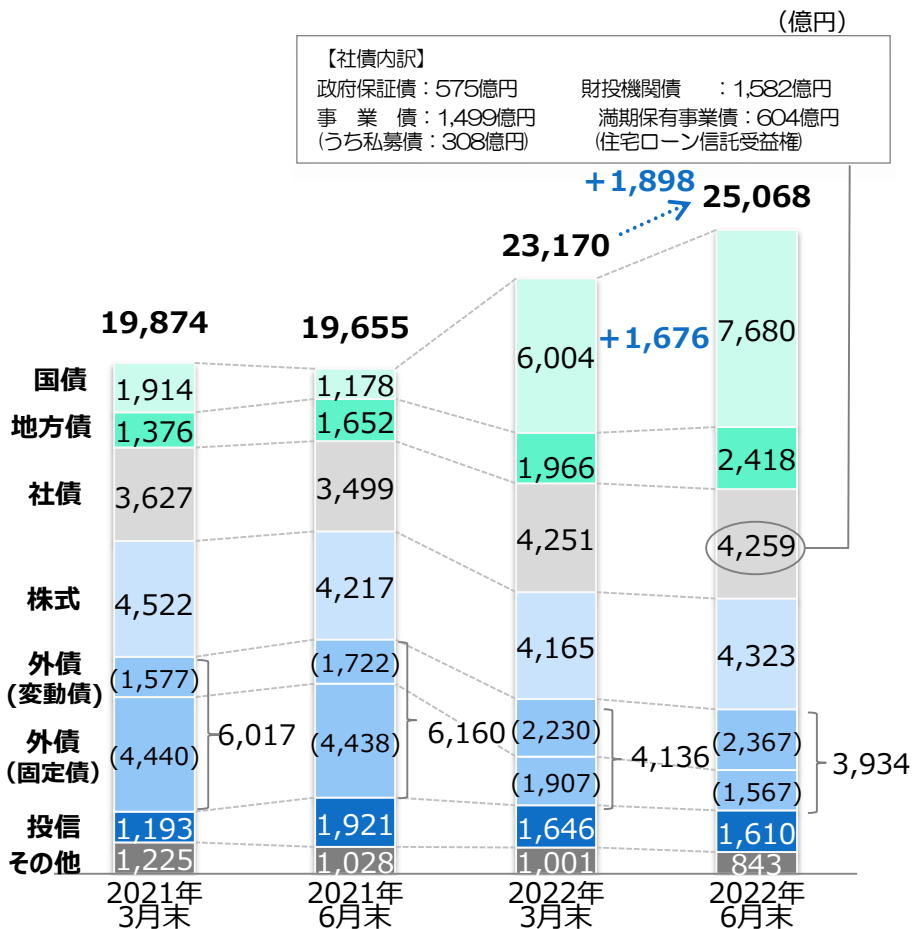
預金残高(平残)増減額(前年同期比)内訳



有価証券

市場環境が変化するなか、中長期な安定収益確保の観点より、ポートフォリオの組み換え等を実施

有価証券の状況



[平均残存期間]

	2021年3月末	2021年6月末	2022年3月末	2022年6月末
円債	5.97年	5.21年	6.37年	6.90年
外債	3.37年	2.80年	2.08年	1.02年

有価証券関係損益

(億円)	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	前年同期比
有価証券利息配当金	80	84	+4
うち円債	5	9	+4
うち外債	12	14	+2
うち投資信託収益 (うち解約損益)	7 (△2)	4 (3)	△3 (+5)

国債等債券関係損益	△5	△84	△79
うち売却益	14	44	+30
" 売却損・償還損(△)	19	128	+110

株式等関係損益	△1	69	+70
うち売却益	5	70	+65
うち売却損・償却(△)	6	1	△5

有価証券評価損益の推移

(億円)	2021年 3月末	2021年 6月末	2022年 3月末	2022年 6月末	2022年 3月末比
有価証券評価損益	+3,256	+3,036	+2,742	+2,795	+53
株式	+3,214	+2,937	+2,880	+3,039	+158
円債	+9	+23	△66	△110	△43
外債	△60	△26	△178	△217	△39
投信	+41	+50	+6	△25	△30
その他	+52	+52	+100	+108	+7

役務取引等利益

役務取引等利益は、法人関連収益の増加、役務取引等費用の減少により増加

BK：静岡銀行 SMC：静銀経営コンサルティング リース：静銀リース TM証券：静銀ティーエム証券

役務取引等利益の状況

【単体】	(億円)	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	前年 同期比
役務取引等利益		43	37	59	+22
役務取引等収益		78	74	83	+9
役務取引等費用（△）		35	37	24	△13

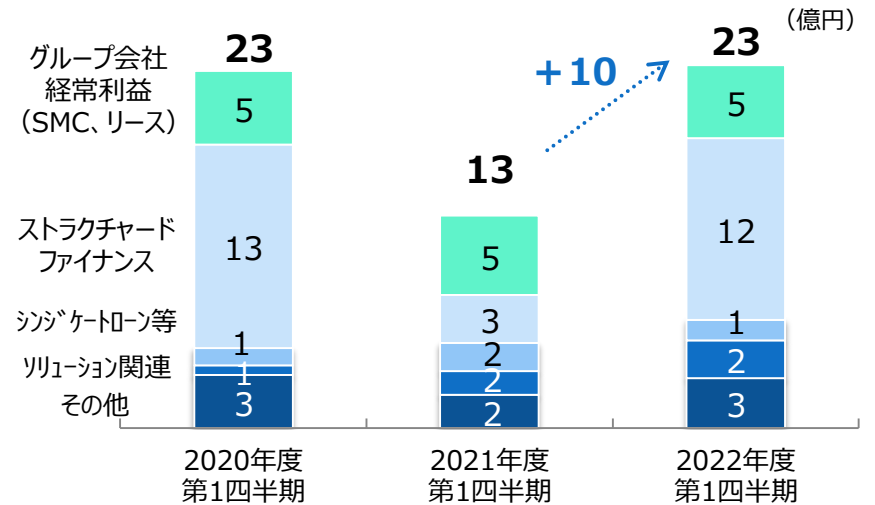
<主要利益項目（支店営業部門）>

法人関連	18	8	18	+10
ストラクチャードファイナンス関連	13	3	12	+8
シンジケートローン等	1	2	1	△1
ソリューション関連 （ビジネスマッチング、補助金支援等）	1	2	2	+1
その他（JAFナレッジ・PIF等）	3	2	3	+1
その他融資関連	7	10	8	△1
預り資産関連	10	12	14	+2
投信	1	1	1	+0
保険	10	12	13	+2
為替手数料（収支）	14	15	13	△1

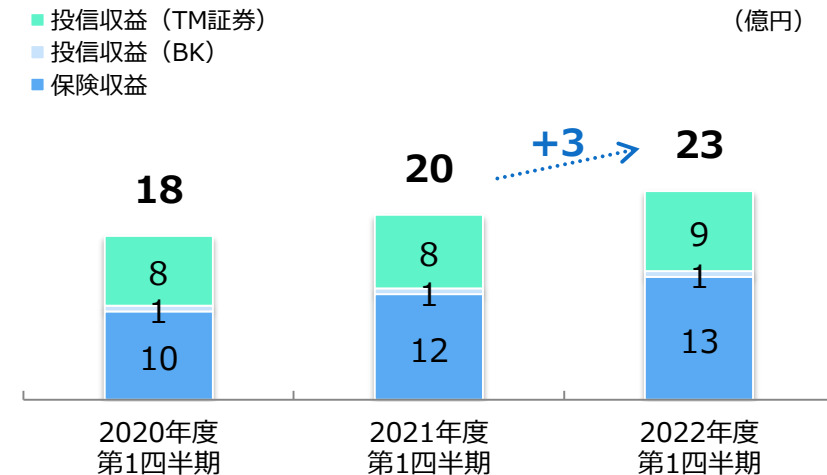
【連結】

役務取引等利益	79	76	98	+22
---------	----	----	----	-----

法人関連収益（グループ会社含む）

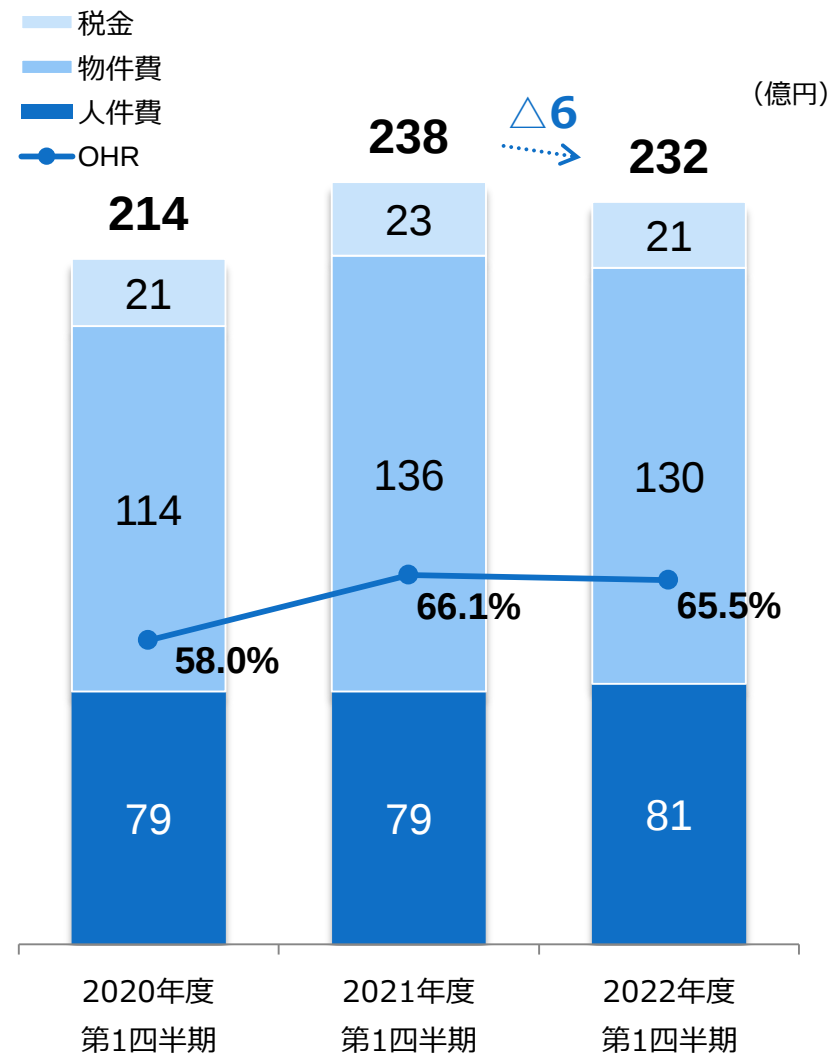


預り資産収益（グループ会社含む）



2022年度第1四半期の経費、OHRは前年同期比減少

経費およびOHRの推移（単体）



経費の主な増減要因（単体）

	増減額	主な増減
税金	△3億円	消費税△2億円
物件費	△6億円	預金保険料△4億円
人件費	+3億円	給与等+2億円
合計	△6億円	

物件費の内訳（単体）

（億円）

	2020年度第1四半期	2021年度第1四半期	2022年度第1四半期	前年同期比
物件費	114	136	130	△6
（うち次世代汽船関連）	(10)	(35)	(32)	(△3)
うち減価償却費	25	44	43	△1
（うち次世代汽船関連）	(2)	(23)	(21)	(△2)

与信関係費用

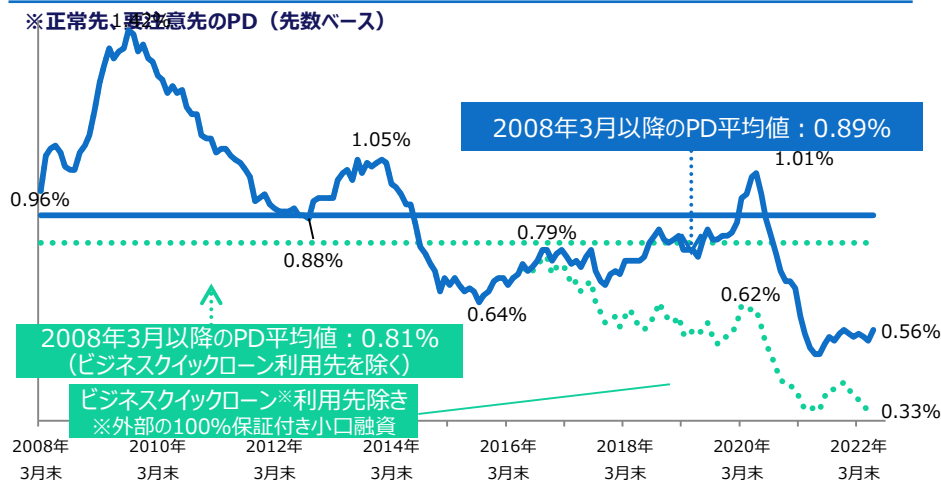
2022年度第1四半期の与信関係費用は前年同期比減少

与信関係費用の内訳

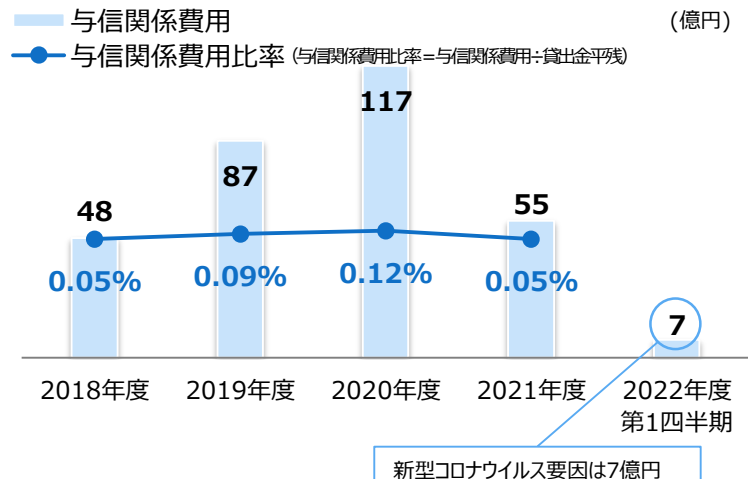
(億円)	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	前年 同期比
一般貸倒引当金繰入額 ①	5	1	△0	△1
個別貸倒引当金繰入額 ②	24	10	6	△5
その他不良債権処理額 ③ ※	△0	0	1	+1
与信関係費用 (①+②+③)	29	11	7	△5

※ 信用保証協会負担金、偶発損失引当金繰入額、貸出債権等売却損などを含む

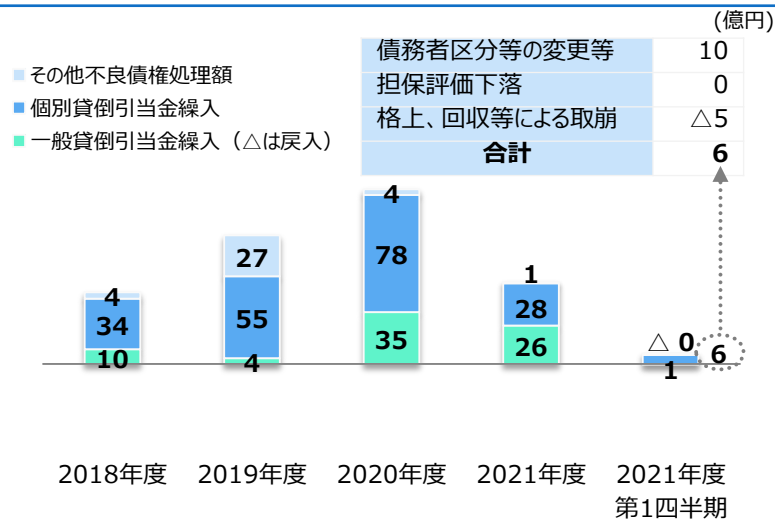
デフォルト確率（PD）の推移



与信関係費用・与信関係費用比率の推移



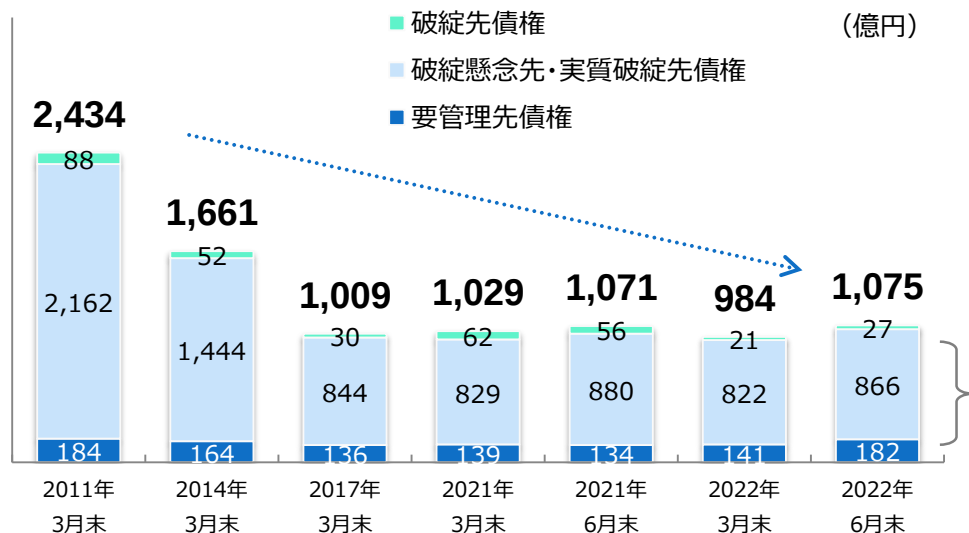
引当金繰入額およびその他不良債権処理額の推移



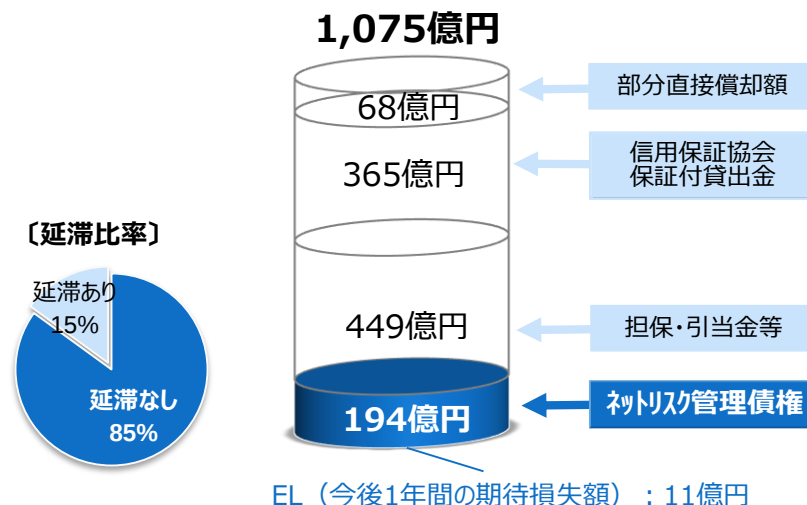
リスク管理債権（金融再生法開示債権※）

リスク管理債権はリーマン・ショック後のピーク残高から大きく減少

リスク管理債権の推移



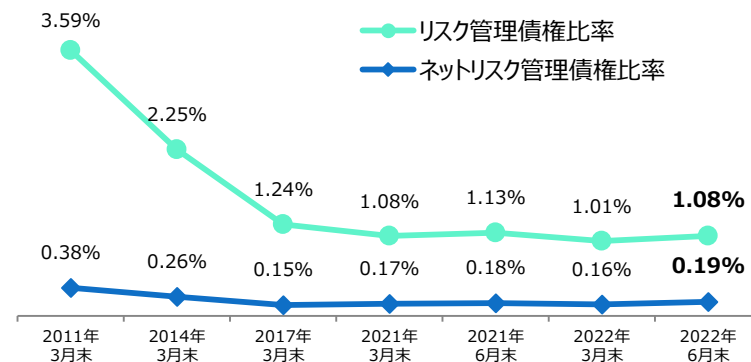
ネットリスク管理債権



不良債権のオフバランス化実績

(億円)	2021年度	2021年度 第1四半期	【△38億円の内訳】 (億円)	
新規発生	+295	+136	本人弁済 預金相殺	△12
オフバランス化 (うち破綻懸念先以下)	△340 (△307)	△45 (△38)	担保処分 代位弁済	△18
リスク管理債権	984	1,075	格上	△8
			債権売却	0

リスク管理債権比率推移



※ 銀行法施行規則改正に伴い2022年3月末より金融再生法開示債権の基準に統一。過去に遡って適用

2022年度業績予想

連結経常利益は与信関係費用増加分を勘案し、中計対比△40億円

(億円)

		2020年度 実績	2021年度 実績 (A)	2022年度 予想 (B)	前年度比 (B-A)	2022年度 第1四半期 実績 (C)	進捗率 (C÷B)
連 結	経常利益	633	542	760	+218	191	25.0%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	436	416	540	+124	144	26.7%
	ROE	4.1%	3.8%	4.7%	+0.9pt	5.3%	—
	OHR	59.5%	64.2%	56.5%	▲7.7pt	67.2%	—
単 体	業務粗利益	1,385	1,347	1,517	+170	353	23.2%
	資金利益	1,147	1,245	1,278	+33	313	24.4%
	役務取引等利益	159	148	174	+26	59	34.1%
	特定取引利益	9	9	8	▲1	6	80.7%
	その他業務利益	70	▲55	57	+112	▲26	▲44.8%
	経費 (△)	844	882	877	▲5	232	26.4%
	経常利益	515	453	645	+192	187	28.9%
	当期純利益	355	361	450	+89	148	32.8%
	与信関係費用 (△)	117	55	110	+55	7	5.9%